

ラヴァル大学（カナダ）留学体験談

生命環境科学研究科 環境科学専攻 博士前期課程2回生 古川修平

私は2019年の1月から4月にかけてカナダのケベック州にあるラヴァル大学に留学させていただきました。私は高校生のとき国際文化科という学科に所属していて、英語を中心に勉強していました。そこで、今回のお話を頂いたときに、その英語力を使ってみたいと思って留学することを決めました。私の研究は森林のレーザー計測なので、留学中はそのソフトウェアを開発しておられる方の研究室へ所属させてもらいました。ケベック州はフランス語圏なので、英語の発音が少しフランス語に近い発音になっていました。そのため、うまく言葉を聞き取ることができず、苦勞することがありました。しかし、研究室の方々はとても親切で、**Snowshoeing**にも参加させてもらいました。**Snowshoeing**は雪の中を歩くハイキングのようなものなのですが、私にとっては全く経験のないことで写真のような景色を見られたのでとても楽しく思い出に残っています。私は今回の留学を経て、英語でのコミュニケーションは熱意さえあれば話を聞いてもらえるので気持ちが大切だと改めて知りました。今後は今回の留学で学んだことを生かして研究を続けていきたいと思います。



生命環境科学研究科 環境科学専攻 博士前期課程 2 回生 宝角春香

私はカナダのラヴァル大学に 3 か月留学しました。留学期間は最低気温 -20 度にもなる雪深い時期でしたが、木材が多用されたガラス張りの建物の中は光が入り植物も多く、室温管理もされていてとても快適でした。私がお世話になったのは、研究室は各国からの留学生が在籍する国際色豊かな研究室でした。実験ではスギやブナに代わり、メープルの樹皮を使っていたところにカナダらしさを感じました。研究報告会やランチタイムには様々な研究や各国の話が聞け、大変興味深かったです。また、休日には寮のイベントに参加したり、旅行に出かけました。フランス語や英語に苦勞することはありましたが、親切な人に囲まれよい経験ができたと思います。

